

平成 29 年度 第 5 回番組審議会

議 事 録

株式会社エフエム戸塚

横浜市戸塚区川上町 91 番地 1

平成 30 年 1 月 25 日

平成 29 年度 第 5 回番組審議会 議事録

- 日 時 : 平成 30 年 1 月 25 日 (木) 14:00～15:30
- 場 所 : 株式会社エフエム戸塚 会議室
- 出席者 : 番組審議委員 4 名
金子 富康、小泉 信義、齊藤 真美奈、福嶋 隆太郎
- 事務局 : 顧問 大滝 正雄、河原 愛美
- 議事録 : 番組審議会事務局作成

■議題

1. 番組 : 12 月 20 日 (水) 放送の番組「モレラ東戸塚ハッピータウン」 (担当アナウンサー : 須部 楓)
番組 : 12 月 26 日 (火) 放送の番組「モレラ東戸塚ハッピータウン」 (担当アナウンサー : 高橋 幸寛)
に関するご意見について
2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について
3. その他ご意見ご感想について

■議事

1. 番組 : 12 月 20 日 (水) 放送の番組「モレラ東戸塚ハッピータウン」 (担当アナウンサー : 須部 楓)
番組 : 12 月 26 日 (火) 放送の番組「モレラ東戸塚ハッピータウン」 (担当アナウンサー : 高橋 幸寛)
に関するご意見について

～番組の説明～

モレラ東戸塚ハッピータウンは、暮らしに寄り添うトピックスを懐かしの音楽と共にお届けする番組。

火曜日・木曜日・金曜日は生放送。月曜日・水曜日は、収録放送でお届けしている。

月曜日は暮らし、火曜日は地域活動やこだわり、水曜日は健康、木曜日は子育てや食、金曜日はカルチャーをテーマにお届けしている。月曜日～金曜日まで 5 人のパーソナリティが担当しています。

放送日は、平日の月曜日～金曜日までの午前 10 時～午前 10 時 55 分までとなっております。

一各審議委員からの意見は次の通りである。

審議委員 (A)

・まずは、12 月 26 日 (火) 放送の番組「モレラ東戸塚ハッピータウン」 (担当アナウンサー : 高橋 幸寛) のほうから意見を述べます。初めて、新人の放送を聴いたのですが、同じ新人の放送を聴くと、

12 月 20 日 (水) のほうが上手く聞こえてしまう。

12 月 26 日 (火) のほうは、放送というよりなんだか呟いているという印象がありました。

自分の言葉では伝えてなく、原稿を読んでいるだけというように感じてしまいます。

自信がなさそうで、言葉に詰まっている様子でした。

テーマとテーマの間に空白の時間 (5 - 6 秒) が、あったのが気になります。

原稿は、ぶっつけ本番で読むのでしょうか？それとも、読み込んで本番で伝えるのでしょうか？

読み込んで伝えているように感じられなかった。

神奈川大学駅伝部の取材音声 (担当 : 河原) が番組中に流れていたが、その音声と高橋さんの喋りを比較してしまうと、あまりにも違いすぎるため、ギャップを感じてしまいます。新人とはこんなにも違うのかと驚いた。

審議委員(B)

・私は、12月20日(水)放送の番組「モレラ東戸塚ハッピータウン」(担当アナウンサー:須部 楓)のほうから感想を述べますが、聴いていて聞きやすいなと感じた。

また、健康をテーマになっているが、有益な情報を多く伝えてくれていて、役に立つ情報だと感じた。選曲も素晴らしいと感じましたし、ナレーションのサンタクロースはいるか?という社説の話も良い。曲説明は新鮮であった。モレラ箱・大久保先生の話で、学校医としての話も分かりやすかったし、掃除の仕方話題も分かりやすかった。

・12月26日(火)放送の番組「モレラ東戸塚ハッピータウン」(担当アナウンサー:高橋 幸寛)のほうは、生放送だからか、緊張感が出ている感じが感じられた。

つかえながら話していたのが気になりました。声のトーンや調子が気になりました。

イレブンカットや神奈川大学駅伝部の取材音声(担当:河原)は、聴いていて分かりやすかった。

高橋さんは新人で、縁あって番組を担当していることから上手く育ててほしい。応援したいと感じた。

審議委員(A)

12月20日(水)、26日(火)を担当されている、お二人とも音楽の選び方はお上手ですね。

お二人とも若いのに、例えば、受験生ブルースなんて、どういう風を探してこられたのでしょうか。

選曲の選び方などはどのようにしているのか確認したい。

審議委員(C)

番組冒頭で、「懐かしの音楽と共に」と伝えられていたので、番組主旨をすぐに理解できた。

12月20日(水)、26日(火)ともに、選曲が渋くていいなと感じた。

私の母が、台所で口ずさんでいた曲だったので懐かしさを感じたのと、若手の2人がその曲を選んでいることに新鮮さを感じた。案内状を確認せずに番組を聴いたので、後から新人と知り納得した。

12月20日(水)(担当:須部楓)のほうは、新人にしては頑張っていると感じました。

12月26日(火)(担当:高橋幸寛)は、生放送であるので、緊張感からか嗜みやすいのだろうか?と感じられた。

12月20日(水)(担当:須部楓)のモレラ箱・大久保先生の話は、学校医の体験談だったので、一般リスナーにとっては聴いて「へー」と感じられるような内容で楽しむことができた。

12月26日(火)(担当:高橋幸寛)は、機械操作がぎこちない部分があるように感じられた。

間の空き具合が気になった。励ましの気持ち、応援の気持ちが芽生える放送であった。

審議委員(A)

・半年後、2人の放送を聴いた場合、2人の成長を実感できるといい。

・高橋さんは、アナウンサーとして入社されたのでしょうか?

審議委員(D)

・番組コンセプトはしっかりしているので、2人とも個性が出ていて良かったと感じた。

皆さんもおっしゃっていますが、12月26日(火)のつたない状態が続いてしまうと困るなと感じた。

生放送が苦手であるのであれば、収録放送で育てるという手もあるのかもしれない。

12月20日(水)と26日(火)の放送をどうしても聴き比べてしまうと、20日(水)のほう聴きやすいと感じますので、差を感じてしまいます。お二人とも引き続き頑張ってもらいたい。

—各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通りである。

- ・基本は、番組パーソナリティ・アナウンサーが原稿を作成し、読み込んでから本番に臨む。
- ・選曲方法は、まずは番組のコンセプトが「懐かしの音楽」と共にということ掲げているため、懐かしの音楽を中心に選曲している。また、パーソナリティ研修を行っている講師へ選曲方法などを確認してご指導頂いている。
- ・高橋は、アナウンサーとして入社。
エフエム戸塚は、アナウンサーであっても社員としての業務もありますので、時間の使い方についても、両立できるように日々、頑張っている。
アナウンサーとして募集し、今回、4人いっぺんに入社したのは、開局以来、初めてのことであり、理由は、改編などを繰り返していくなかで、新人を育てようという会社方針があり、新人へ激励しながら、育成に力を入れております。

2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について

及び、3. その他ご意見ご感想について

審議委員(B)、審議委員(D)

アナウンサーに採用される方は、専門学校などで学んでいることが多いのでしょうか？

担当パーソナリティにより、あれ？という喋り方もあり、気になりました。

事務局の河原さんは訓練されている様子が伝わってきますが、他の方はどうなのでしょう？

審議委員(C)

- ・新人アナウンサーの育成方法は、会社としてどのようにしているのでしょうか？
日本テレビのドキュメンタリーを見ていると、厳しく先輩の女性アナウンサーが指導されているようですが、エフエム戸塚もそうなのでしょう？
- ・12月26日(火)の放送は、自信なさげに話している点が気になった。

—各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通りである。

- ・人それぞれですが、アナウンスの勉強している方が多い。
また、日々、発声練習や読み込みをするようにしている。
- ・指導して頂くアナウンサーは、毎日、出社はされてはいませんが、
新人やパーソナリティから、不明点などをお伺いし、練習方法など細かくご指導頂いている。
また、会社も研修の場を設けている。
指導して頂くアナウンサーは、スポーツ実況を行っているベテランアナウンサーである。
新人は、アドバイスを重ねていけば、どんどん上達していくという方針で、育成している。
そのため、日々の成長を確認して頂く上でも、再度、放送を聴いて頂きたい。

■審議会は、次回の日程を確認し終了した。

次回開催日：平成30年3月8日(木) 15:00～